

ふれらんど お花畑プロジェクト 植え付け後報告レポート

R2. 10. 14 VOL. 4

<観察してわかったこと>

今回は、杉若さんに花の種について色々とお話をいただきました。種には、発芽に適した温度があります。今回種だんごとして植えて、残念ながら発芽しなかったのは、そういう理由だからかもしれません。また、種の寿命は、種の大きさが大きい方が長いそうです。コスモスは、2年ほどだそうです。世界最古といわれる大賀ハスは、約2000年前（弥生時代）の種が発芽、開花したものらしいです。そんなに古い種が発芽するとは、とても驚きました。



シャーレーポピー。柱頭に受粉すると、ふくらんで花びらが落ちてこのような状態になります。中に種ができています。



カリフォルニアポピーは、この長いさやをはじいて種を遠くまでとばします。



黒い長細いのがコスモスの種。コスモスの種は大きいため自分の周りにしか落ちませんが、ポピーは小さいため風に乗って広い範囲に飛ばされます。



<きれいに咲いていた花>

シャーレーポピーは、品種によって様々な色があり、とてもきれいでした。楕円形のつぼみで、ギザギザとした葉が特徴です。アイスランドポピーは、葉の形がシャーレーポピーと少し違い丸みがありました。寒さに強いが、夏の暑さには弱いとのこと。昨年咲いた花の種が落ちて、今年花を咲かせていました。



<感想>

今まで観察してきた中で、今回が一番きれいにたくさんの花が咲いていました。中でも、コスモスが見たえがありました。そこに点在するポピーがかわいかったです。ぜひ、皆さんにも見てもらいたいと思いました。

〈担当； 恵庭南高校ボランティア部 浅田、中村健、佐藤〉